

## 神楽中尾根山スキー報告

【山城】新潟・神楽峰

【日程と天気】2018年4月14日（土）晴れ：風強し

【メンバー】CL菊池・井上（里）・Tさん（船山）

【行程】千葉—かぐらスキー場駐車場—スキー場トップ（第五ロマ降り場）—稜線—中尾根トップ—中尾根—和田小屋—ゲレンデ滑走—駐車場—帰葉



- ・悪天予想の今週末、月山ツアーを諦めたが、14日（土）は何とか午前中、天気が持ちそうということで、浄土平ツアーを考えてが、スカイライン開通の遅れで断念、最終的に神楽に決定した。早い時間の行動を目的に駐車場に7時過ぎ到着、田代エリアは強風でクローズとのこと、続々と駐車場に車が増えてきた。かぐら第五ロマは運休とのこと、みつまたロープウェイを降りると、かなりの強風が早くも吹き荒れている。リフトが風で大きく揺らぎ前途多難なスタートとなった。ゴンドラを降りると神楽エリアはまだそれほど風は強くない。かぐら第一高速を降り、ここからシール登行、準備を終えスタートと思いきや、第五ロマが7分後から動くとのこと、シールを外しゲート開門を待った。第五ロマの乗り場の向かう途中からの中尾根は全層雪崩の亀裂ができています。



- ・第五ロマの降り場で計画書を提出し、ビーコンチェックのゲートを通過、支度を整えスタート。天気はまあまあ、風もそれほど強くない。早い時間であり、天気崩れを予想してかツアー客はまだ多くない。谷川の山々の山頂付近は雲がかかっているが暫く天気は持ちそうである。



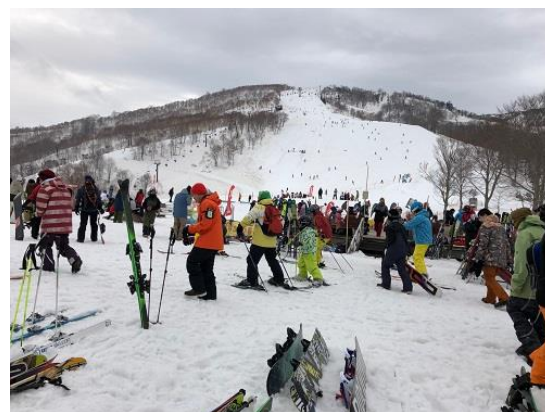
素晴らしい青空が広がっている。気持ちよいシール登行です。中尾根トップに向かう稜線まであとわずか、いつもの苗場山の雄姿が気分を盛り上げてくれる。霧ノ塔・雁ヶ峰ルートに向かうパーティもいるが、天気崩れが早そう、ゲレンデに





降りるところは雪が少なく、苦労しそうであるため我々は中尾根滑走に決定した。

- ・中尾根のエントリーポイントから見る景色は素晴らしい。スタート前の記念撮影です。パウダーシーズンは中尾根の急斜面を第五ロマの乗り場に向かってのルートを滑走するが、残雪期は雪崩れの危険性もあり、中尾根そのものを滑走するのが快適である。緩斜面～中斜面のオープン斜面、ザラメの快適滑走である。新雪の残った部分はストップスノー気味でバランスを崩さないように慎重さを要しました。



シラビソとダケカンバの疎林地帯、中斜面と一部急斜面を交えた変化に富んだ尾根のロングルート(標高差 600m余り)の終盤です。この後、埋まった沢に降りたち、ブナ林を通過して和田小屋・ゴンドラ降り場まであとわずか。ストップスノー気味の雪面でスキーが引っ掛かりバランスを崩したTさん、左足のふくらはぎの打撲と足首の捻挫(?)で痛みが強く、何とか頑張ってゴンドラ駅のレストランに到着した。

ゴンドラ終点はこんな賑わいです。レストランで休憩後、第一高速のゲレンデを一本滑走したが、大分疲労してきており、長いゲレンデをゆっくり休み休み滑走し、早々と終了した。Tさん、歩行は何とかできるが痛みが結構あるため、下りのゴンドラで下り、そこからロープウェイ駅上駅までスノーモービルに乗せていただいた。

Tさんは帰業後、整形外科受診の結果、左腓骨骨折2か所でギブス装着となった。